

## 5 源氏物語宇治十帖古跡巡りコース

- ・観光スポットと順路は一例です。
- ・所要時間と歩行時間には社寺・施設の歩行時間を含みますが、オプションは含まれていません。
- ・オプションをご希望の方は、その時間や、休憩時間を含めて原則4時間以内になるよう、ガイドと打合せ願います。

コースNo	5-1	備考
所要時間 (JRから)	約4時間	
歩行距離 (拝観含む)	約6.9km	



源氏物語は五十四帖から成り、最後の十帖が主に宇治を舞台にしているところから「宇治十帖」と呼ばれています。光源氏は既に世になく、その子ながら出生に暗い影を宿す薫君と孫の匂宮、光源氏の弟・八宮の二人の姫君と異母妹・浮舟が織りなす物語は人の世の

“あはれ”を胸に訴えます。

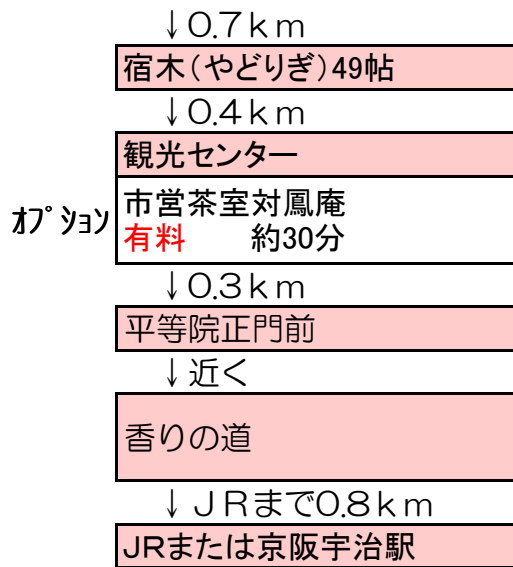
当時の宇治は貴族の別業の地であった為に源氏物語にもとりあげられました。物語の中でも四季の趣が細かく描写されているのです。千年を経た今も変わる事ない山々、濤々と流れる宇治川や木立の風情が平等院や宇治上神社などの世界遺産を包み込んでいます。ゆかりの古跡を訪ねてしばし平安の面影を偲ぶ旅にお出掛けになりませんか。

源氏ファンには必見の施設、模型や映像でわかりやすく紹介しています。

晶子詠歌「宇治十帖」十首。

八の宮と姫君たちの山荘はこのあたりです。

ヒロイン浮舟と匂宮が小舟で漕ぎ出す情景背景の屏風は橋姫の場面。



ちょっと一服。

正式なお手前で、本場の宇治茶が味わえます。

左大臣夕霧の別荘はこのあたりです。

有名なお茶を扱う店が並び、お茶を焙じる香りは「日本香りの道百選」に。

$h_0$

